

# ふくめんの歴史について

2年1組 赤松 奏来

2年2組 松本 拓実

指導者 長尾 起条

## 1 課題設定の理由

愛媛県には数多くの郷土料理が存在しており、宇和島市においても「鯛めし」や「ふくめん」、「卵寒天」など様々な郷土料理が存在する。そこで、どのようにしてこれらのような郷土料理が誕生したのか調べることで、愛媛県の食文化について学びたいと思いこの主題を設定した。また、今回は中でも「ふくめん」に焦点を当て調べることにした。

「ふくめん (図1)」とは、宇和島市の郷土料理の一つである。現在は祭りや正月など人の集まる宴会料理として、結婚披露宴や長寿祝いなどのハレの料理として食べられている。千切りにして味付けしたこんにやく（または味付けした糸こんにやく）の上に、白身魚のそぼろや、細かく刻んだみかんの皮、葱などを区画に分けて盛り付けている。下のめんは食べやすいように短く切っている。この郷土料理「ふくめん」について、その名前の由来や、食べられ始めた背景などを文献・聞き取りによって調査を行った。



図1 ふくめん

上の層

写真左上

ピンク（魚のそぼろなどを使用）

写真右上

緑（葱を小口切りにしたものなどを使用）

写真左下

白（魚のそぼろなどを使用）

写真右下

オレンジ（みかんの皮などを使用）

下の層

千切りにした味付けこんにやくや味付け糸こんにやくを使用

## 2 由来についての仮説

- (1) 外国から日本に訪れた人に日本人がその外国の食文化について聞き、日本に取り入れたのではないか。
- (2) 昔に外国から伝わり、日本で食べられていたが、時代が変わっていくごとに食べられる地域が減っていき、宇和島市だけになったのではないか。
- (3) 日本全国で食べられており、その中でも宇和島市で一番食べられており、それが後世に残ったのではないか。

## 3 調査とその結果

### (1) 文献調査

ア 宇和島では、こんにやくのことを「山ふく」という。その糸切りの料理なので、「ふく麺」という名前になったと考えられる。また一説には、こんにやくが見えなくなるほど、そぼろ

がすっかり上を覆う（覆面する）のでこの名があるともいわれている。

イ こんにゃくは我が国へは、中国から仏教伝来とともに精進料理として伝わったという説、また遣唐使が持ち帰ったという説があり、平安時代の『拾遺和歌集』の中に詠まれている。室町時代には点心として利用された記録があるが、庶民に食品として親しまれて広く普及したのは江戸時代からのようである。

ウ 宇和島ではお祭りが終わったあとの料理の片付けをマナイタアライと言うが、その時に女性たちは残り物の料理を囲んで食事をしていた。こんにゃくの煮物や、イモの煮物などさまざまな残り物の見栄えを整えるため、こんにゃくなどは細く切って別皿に盛り、煮魚の身をほぐしてその上にかけて、下のものが見えないようにして新たな一品にした。これが「ふくめん」の始まりではないか。

## (2) 聞き取り調査

宇和島市の郷土料理店和日輔（わびすけ）の店主の岡田慶三さんにお話をうかがった。

ア 「ふくめん」は宇和島藩の行事食として伝わっている。

イ 江戸時代の飢饉の際にも食糧確保のためにこんにゃく芋はよく栽培された。

ウ こんにゃくの上に載せるピンクのそばろは春、緑のねぎは夏、ミカンのオレンジを秋、白のそばろを冬とし、四季を表すことでハレの日の料理をしてふるまわれるようになった。

## 4 考察

岡田さんの話から「ふくめん」は宇和島藩の行事食として広まったことが分かったが、これがいつ成立したのか気になった。データベース『愛媛の記憶』によると、享保17年（1732）に冷雨が続き、さらに大規模な虫害が発生したことから大飢饉が発生した。こんにゃく芋は江戸時代の飢饉の際に食糧確保のために栽培されたことが多かったことから、ふくめんが成立したのはこの飢饉の頃からではないかと考えた。

## 5 今後の課題

今後の課題として、1店舗にしか「ふくめん」について聞くことができなかったため、他店舗にも聞いて回り、より多くの情報を集める必要がある。また、宇和島市内ではどの程度「ふくめん」が食べられているのかについても気になったため調査を続ける必要がある。宇和島の郷土料理の中では「鯛めし」などよりも知名度が低いが、さらなる調査を進めていき、郷土料理としてアピールしていきたい。

## 謝辞

本調査にあたり、ご助力していただいた和日輔店長岡田慶三様、ならびに、この調査に携わっていただいた方々にこの場を借りて感謝の意を表します。

## 参考文献

- ・データベース『愛媛の記憶』生涯学習情報提供システム(i-manabi.jp)
- ・平成15年度えひめ地域学調査報告書『えひめ、その食とくらし:平成から昭和へ、記憶でたどる原風景』愛媛県生涯学習センター
- ・農林水産省 うちの郷土料理  
([https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k\\_ryouri/index.html](https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k_ryouri/index.html))
- ・全国友の会(1987)『伝えてゆきたい 家庭の郷土料理』婦人之友社